「防犯ボランティアに関するアンケート」リサーチプラン

1. 調査の背景と目的

　府民の誰もが、毎日を安心して過ごすことができる安全なまち大阪を実現するためには、警察、大阪府、市町村による取組みに加えて、府民一人ひとりが防犯意識を高め、当事者意識を持った地域ぐるみによる防犯活動の取組みが不可欠である。しかしながら、それらの取組みを担ってきた府民防犯ボランティアの高齢化が進み、次世代への承継が喫緊の課題となっている。防犯ボランティアの活動の活性化を図り、持続可能なものとするため、本調査では担い手として期待される若い世代等を中心に府民の犯罪や防犯に関する認識等を把握し、今後の施策の展開に活用する。

1. 調査仮説

仮説１　府内犯罪状況の知識が高い人ほど、防犯ボランティアに関する認識や関心が高く、一人ひとりの取組みの必要性を感じている

仮説２　年齢によって、防犯ボランティアに関する関心や参加意向、さらに防犯ボランティアに参加する動機が異なる

仮説３　年齢層が若い人のうち「学生（高・大）」は他の職業に比べ、防犯ボランティアへの参加意向が高い

仮説４　防犯ボランティア活動を見たことがある人は、そうでない人に比べ関心があり、府民一人ひとりの取組みの必要性を感じている

1. 調査対象　府民1,000サンプル（地域割付なし）　※「学生」を50以上回収目標

15歳～24歳　男女各100名（２００）

25歳～34歳　男女各50名（１００）

35歳～44歳　男女各50名（１００）

45歳～54歳　男女各100名（２００）

55歳～64歳　男女各100名（２００）

65歳～90歳　男女各100名（２００）

1. 質問項目

予備質問　２問

本質問　17問

＜予備質問＞

市町村、職業　（他年齢、性別）

＜本質問＞

1. 府内犯罪情勢の知識(MA)
2. 府民の防犯活動として実際に見たことのあるもの（見守り隊、青パトなど）(MA)
3. 地域の防犯ボランティア団体の状況の認識(SA)
4. 防犯ボランティア活動に対する関心(SA)
5. 防犯ボランティア活動への参加(SA)（現在参加、過去参加、不参加）
6. 【参加】参加のきっかけ(MA)(SA)
7. 【参加】参加して課題に感じたこと（MA）
8. 【関心あり・不参加】参加する場合に不安なこと(不参加のネック)(MA)
9. 【過去参加】参加しなくなった理由(MA)
10. 防犯ボランティアへの府民の関り方（SA）
11. 【必要ない人】その理由（MA）
12. 今後の防犯ボランティアの参加意向(SA)
13. 【参加意向あり】防犯ボランティアで参加したい活動等(MA)（子ども見守り隊、青パト）
14. 【参加意向あり】防犯ボランティアに参加したい時間帯(MA)（早朝、夜間、平日、休日）
15. 安まちメールの登録の有無(SA)
16. これまで参加した地域活動の内容(MA)（防災、環境保護、青少年育成など）
17. 家族構成(SA)
18. 検証方法

○年齢層セグメント

【若年層】　15歳～34歳（300）→24歳以下でも区分

【中間層】　35歳～54歳（300）

【高齢層】　55歳以上（400）→６４歳以下でも区分

仮説１　Q１（反応個数）×Q３、Q４、Q10

仮説２　年齢層×Q4、Q12、Q6(SA)

仮説3　年齢層×職業×Ｑ４、Q12

仮説５　Q２（1つ以上）×Q4、Q10